

静勝寺報

第45号
令和7年
7月25日発行
発行所 静勝寺
編集発行人
高崎忠道

お盆の季節がやってきました。皆様ご清祥にてお過ごしのことと存じます。お盆は、ご先祖様をお迎えして、食事等をお供えし、家族、親族集まって皆で語り、ご先祖様に想いを寄せ、感謝の意を表す行事です。

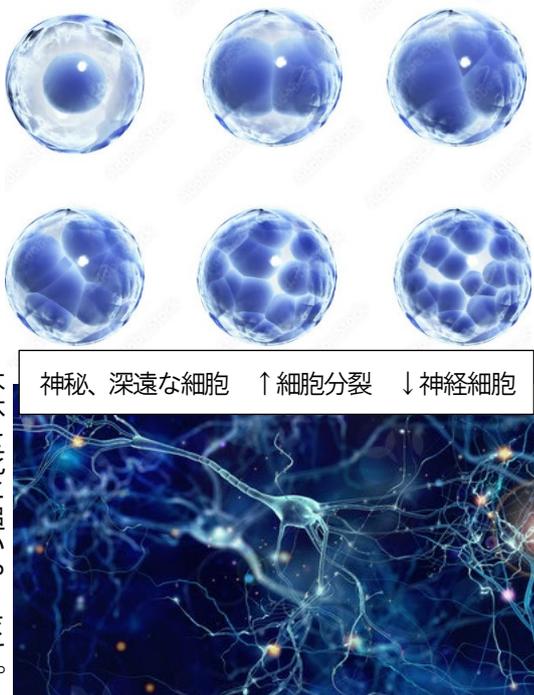
命とは細胞 先日NHKスペシャルで「命とは何か」が放映されてきました。私はこの番組を見て、生命の神秘さ、奥深さ、今ある命の有難さを痛感しました。まず、生命の最小単位は細胞であること。地球上のすべての生物、細菌、大腸菌、ゾウリムシのような単細胞生物、植物、昆虫、魚類、鳥類、人類を含め、ほ乳類は、細胞で成り立っている、一つ一つの命である細胞の集合体なのです。そのどの細胞も実は40億年前の一つの細胞の子孫だそうす。つまり現在の地球上の全生物は、細胞レベルで言えば皆兄弟姉妹ということになります。

細胞内の命なき物質たち その細胞一つ一つは、0.02ミリという小さな空間内に10万種以上の無数の物質で満たされています。この「細胞内物質たち」は「命のない物質」ですが意思があるかのように動き回って働いており、毎日のように細胞内物質が誕生し「指導係役の物質」により指導を受けてそれぞれの役割を果たすようになり、チームを組んでそれぞれの目的のために働いて、細胞内を動き回っています。まるで人間社会が細胞内にあるかのようです。

支えあう40兆個の細胞 この細胞が40兆個集まったのが私たちです。もちろん、いきなり40兆個の細胞が集まったのではなく、はじめは一つの卵子と一つ精子という2つの細胞の出会いから始まります。受精した細胞は、分裂を繰り返していき、まず2種類の細胞に分かれ、一方の細胞たちは赤ちゃん本体となる細胞たち、もう一方の細胞たちは、胎盤となって赤ちゃんの成長を支えます。私たちが生まれえるのは、胎盤等の細胞たちのお陰なので

す。人体となる細胞たちは、心臓、内臓、脳、神経、血液、筋肉、骨、目、耳、皮膚の細胞など全く姿かたち機能の異なるその役目に特化した細胞になります。どの細胞も寿命があり死滅と再生を繰り返して、人体全体を維持していきます（心筋細胞等は再生しない）。細胞たちはそれぞれの役割を果たしながら、他の細胞たちを支え、また支えられている、相互依存の関係にあります。

自分勝手な細胞 ところが自分勝手な細胞が生まれてくることがあります。がん細胞です。自分の役目を果たさず、周りの細胞を傷つけながら増殖し、転移し、ついには人体



本体を死に追いやります。

そしてそのことで、がん細胞自身も死滅してしまふことになるのです。

心の中のがん細胞 誰もが心の中にがん細胞を宿しています。これを煩惱といいます。油断していると心のがん細胞は増殖していきます。貪りの心もたげ、欲望が果てしなく続き、それが達せられず怒りとなり、感謝を忘れ、周りが見えなくなり、自分のことだけに他を傷つけ、愚かな行動を起こしてしまい、ついには身を亡ぼすことになってしまふのです。人類全体も、その尊い命を傷つけあう行為、奪う愚かな行為を繰り返してきました。身近では暴力、いじめが絶えず、自然破壊で他の生物を絶滅に追い

やり、戦争は絶えません。人類あるいは一部の人間の暴走が地球破壊につながりかねないのが現状です

縁起 お釈迦様は、世の中全て存在、現象が、他との関わり縁起で起こり、滅していること（縁起）であることにお気づきになりました。40億年続きこれからも続いていく命、お互いに支えあっている有様が「縁起」であり「自然の摂理」なのです。それにあがなうことで悩み苦しみが生まれているのです。そこから離れるには「自然の摂理」の添うようにする、つまり果てしない欲望をコントロールするように心がけること（戒）。また、良い姿勢でよい呼吸に心がけること（坐禅）で、とらわれを離れ、心が軽くなり、さらに、お互い支えあっていることに気づけば、「感謝」の気持ちが芽生えます。尊重し認め合う、分かち合う、丁寧に接していく、「慈悲」の心をもって他者に接していく、さらに他者のためになることをする（利他行）をお釈迦様はお示しになりました。

私たち誰もが、40億年という長い年月を脈々と伝えられてきた命を受け継ぎ、天文学的な確率から生まれてきた奇跡の存在であり、40兆個の細胞、その中で黙々と働く無数の命なき物質たちに支えられた存在です。なんと尊く、奇跡であり、唯一無二の、キラキラ輝く存在なのでしょう。そう思つと、その命を伝えてきてくださったご先祖様方、精霊方、今この私の命を黙々と支えている自分の細胞たちやその細胞の中で黙々と働く命なき物質たち、お互いに支えあっているこの地球上の全生物、物事、物質に感謝の気持ちでいっぱいになります。私たちの役目はこの先も永遠にこの命のリレーが続くようにすることです。それには「今あるこの命を大切」にして、生ききることに、感謝の気持ちを常に持つことであり、お釈迦様の教えを心がけ実践していくことです。40億年の命のリレーに思いを寄せ、ご先祖様、すべての精霊、生きとし生けるものに感謝の気持ちを捧げましょう。

中野天心老師『常輪寺だより』、『仏教スクール142号』を引用、参考させていただきました。ありがとうございました。



永光寺山門仁王像、地震で手がもげている



能登永光寺法堂前 ご住職の屋敷老師と



永平寺唐門



永平寺 能登参拝旅行



金沢大乘寺山門

能登總持寺祖院 ↑ 総門前の壊れた灯籠 ↑ 崩壊して取り壊された塔頭芳春院 ↑ 砂の彫刻 千里浜



曹洞韶音会演奏会 永平寺別院長谷寺 左端で竜笛を吹いているのが私です。



神田香織師匠講談「はだしのゲン」 原爆投下前後の広島の様子が目の前に浮かびました。2度と戦争を起こしてほしくないと痛感させられました。



施餓鬼会 川上老師の法話 お檀家さんを巻き込みながらお話をいただきました。写真はインタビューを受ける檀家総代の矢島氏

今後の予定

- 棚経 (お盆のお経) 8月
- ご希望の方は、ご連絡お願いいたします。
- 道灌忌 (太田道灌公の命日) 七月二十六日(土) 午後4時半 法要 道灌堂 道灌祭り(夜店) は午後4時より 静勝寺階段下駐車場
- 秋季彼岸会法要 九月二十二日(日) 午前十一時 うた、法話、法要(予定)
- 落語とگریフケア 十月五日(日) 午後2時
- 出演 立川談慶師匠 定員30名
- 元日祈禱 令和8年1月1日 朝6時本堂
- 坐禅会 毎月第一土曜 午後2時半〜4時半 定員50名(予約制) 十一月は十五日
- 写経会 毎月第二土曜 午後2時半〜4時 定員35名(予約制)
- つたの会 毎月第四土曜 午後2時半〜 定員35名(予約制)
- ただし、八月は三十日、十一月も三十日
- 日曜坐禅会、朝の会 坐禅会、毎週日曜朝6時 朝の会(読経と話) 6時50分〜7時半 定員45名(予約制)
- ピアノ教室 体験レッスンあります。以上全ての予約、お問い合わせは 03-3900-4455まで。 日程を変更する場合がありますので電話 ホームページでご確認ください。
- 墓地、永代供養墓募集 永代供養墓、墓地をご希望の方は、ご相談ください。

編集後記 例年施餓鬼会の案内に合わせて、6月20日に発行していましたが、今年から施餓鬼会を5月に移動したため6月20日発行でなくてもよくなりました。で、ついさぼってしまい今頃になってしまいましたが、こじやんと頑張りました。今年も暑くなりそうです。向暑ご自愛ください。ほいたらね。



Instagram@jozanchudo => ←ホームページ http://joshoji1486.sakura.ne.jp/

